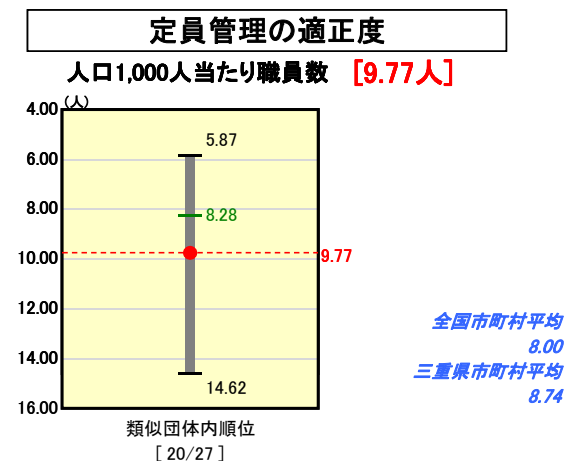
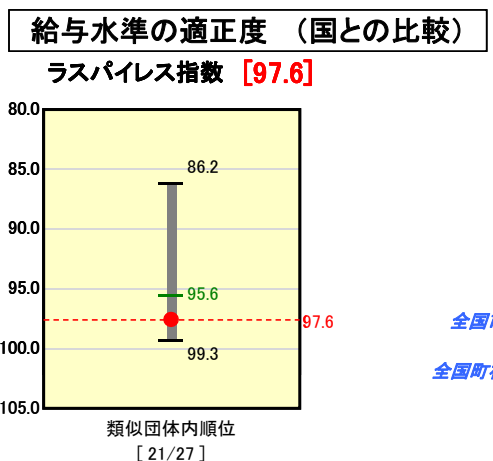
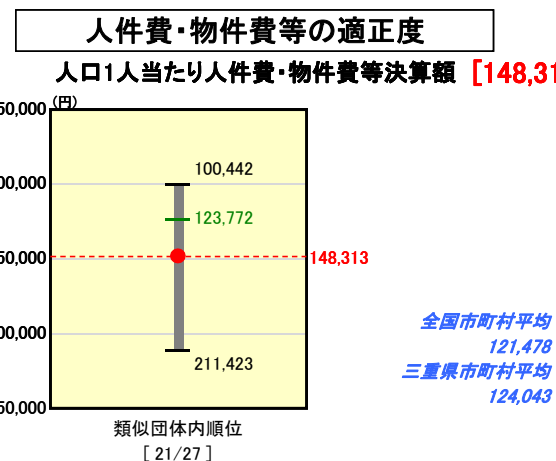
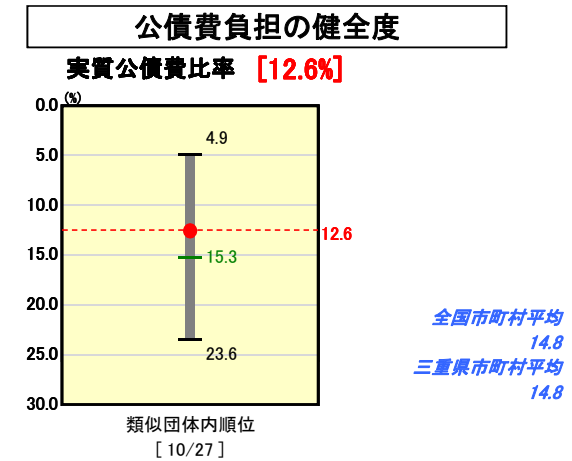
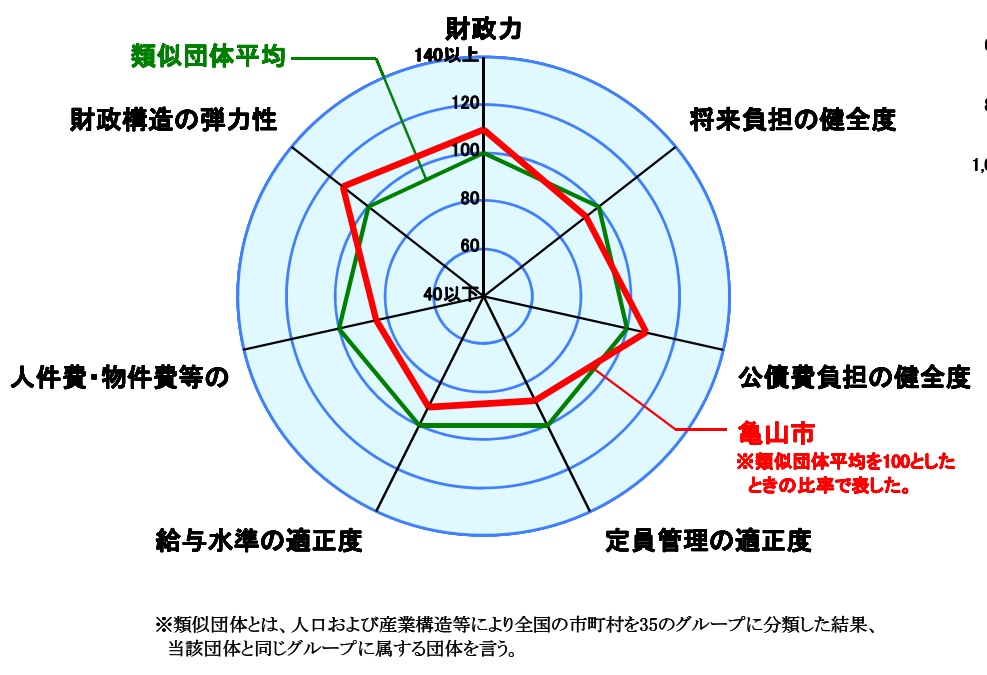
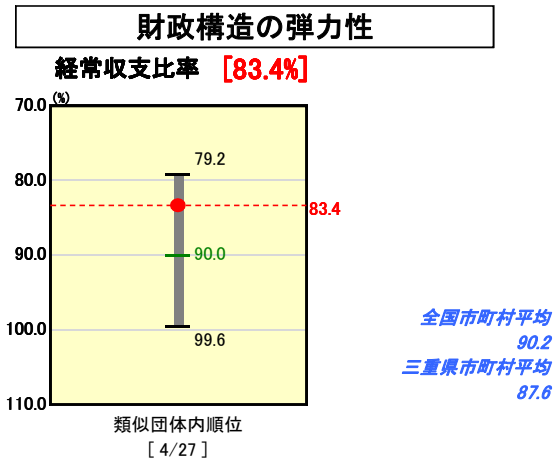
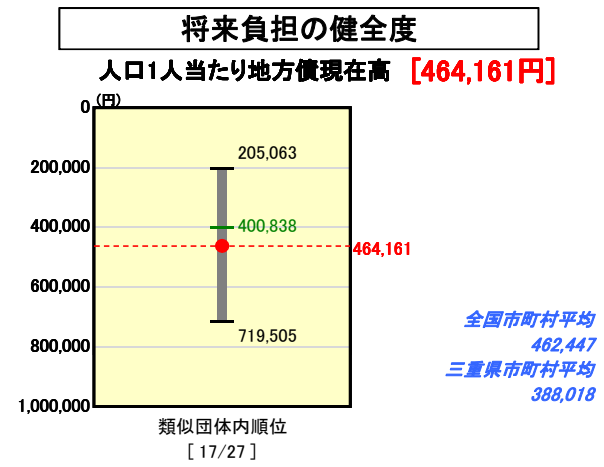
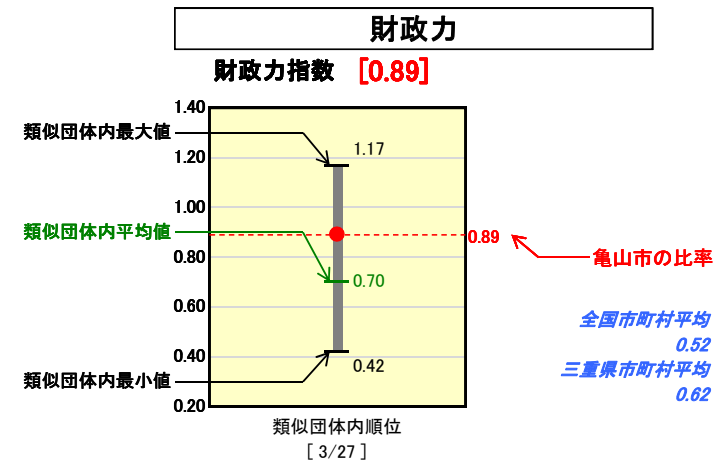


市町村財政比較分析表(平成17年度普通会計決算)

三重県 亀山市

人口	46,670 人(H18.3.31現在)
面積	190.91 km ²
歳入総額	20,060,580 千円
歳出総額	18,844,804 千円



※人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

分析欄

【財政力指数】 新規企業立地などの産業振興施策により市税収入が増加し、指数0.89と類似団体平均値を上回っています。今後、企業の旺盛な設備投資により、市税収入の増加が見込まれ、指数の改善も予想されますが、更なる企業誘致に努め、市税収入の増加を図り自主財源の確保に努めます。

【経常収支比率】 市税収入の増加などにより、指数83.4%と類似団体平均値を下回っています。今後も、自主財源の確保を図るとともに、歳出においては、行政改革を推進し、一層の効率化と経費の削減に努めます。

【人口1人当たり人件費・物件費等決算額】 人口1人当たり148千円で類似団体平均値を上回っています。これは、消防や廃棄物処理などの業務を市単独で実施していることなどの特殊な要因によるものと考えられます。今後、定員適正化計画や行政改革の実行により改善を図ります。

【ラスパイルズ指数】 平成15年以降100を下回り、3年間で1.5ポイント低下しています。職員の給与については、地域

【人口1人当たり地方債現在高】 人口1人当たり464千円で類似団体平均値より残高が多くなっています。これは、総合環境センターや総合保健福祉センターなどの大規模事業の実施による市債の借入れによるものと考えられます。今後、市税等との財源調整を図るとともに、起債対象事業を厳選し借入額の抑制に努めます。

【実質公債費比率】 市税収入の増加などにより、指数12.6%と類似団体平均値を下回っています。今後も、自主財源の確保を図るとともに、歳出においては、市債の借入額の抑制を図ります。

【人口1,000人当たり職員数】 平成10年度から10年間の定員適正化計画により定員管理を行ってきましたが、平成17年1月の市町村合併により一時的に職員が増加したため類似団体平均を上回っています。また、職員数は消防業務を単独で行っていることから、その職員を含んでおり、人口1,000人あたりの数が多くなっているという現状もあります。今後、平成17年度に策定した定員適正化計画に基づき、22年度までに5%削減することにより、より適正な定員管理に努めます。